



平成 26 年 9 月 29 日
海上保安庁

第 4 回「海上保安実務者のための救難・環境防災コース(研修)」の実施について

海上保安庁では、国際協力の一環として、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の協力により、海外の海上保安機関の現場指揮官クラスを我が国に招へいし、参加各国の海上における救難・環境防災体制の強化を目的とする集団研修を毎年実施しています。

四囲を海に囲まれた我が国にとって、経済の要である海上交通路（シーレーン）の救難防災体制の強化は、非常に重要であることから、研修生はアジア諸国に加え、東アフリカのジブチなど 11 カ国から 20 名の海上保安機関の職員を招へいします。

本研修を受講する研修生は、海難事案に対する救難活動、油流出事故に起因する海洋環境汚染対策のほか、東日本大震災を教訓とした救難防災に関する幅広い知識等を習得し、帰国後はそれぞれの自国において指導的立場で、海上保安機関の能力向上を図ることが期待されています。

1. 日程：平成 26 年 9 月 30 日(火) ～ 11 月 21 日(金)まで（8 週間）

2. 受講者：東アフリカ・アジアほか海上保安機関に所属する現場指揮官クラスの職員 11 カ国 20 名
（スリランカ：4 名、フィリピン：3 名、ジブチ、インドネシア、マレーシア、ベトナム：各 2 名
バングラデシュ、フィジー、キルバス、インド、パプアニューギニア：各 1 名）

3. 主な研修内容

- (1) 捜索救助、海上防災、環境保全等に関する講義
- (2) 海上保安庁の施設及び船艇・航空機を使用した業務の現地研修
- (3) 海上防災に関する訓練

4. 取材対象

取材希望される方は上記問合せ先までご連絡ください。

月日	時間	内容	場所
9 月 30 日 (火)	11:00-11:30	開講式	JICA 横浜 (横浜市)
10 月 1 日 (水)	09:30-16:30	カンントリーレポート発表会	〃
10 月 7 日 (火)	14:30-16:30	羽田航空基地・羽田特殊救難基地視察	羽田航空基地他
10 月 9 日 (木)	10:00-16:00	油分析作業等*	海上保安試験研究センター (立川市)
10 月 20 日 (月)	13:00-17:00	各種オイルフェンス取扱実習*	海上災害防止センター (横須賀市)
10 月 21 日 (火)	14:20-17:00	油散布剤水槽実験及び油回収実習*	〃
10 月 22 日 (水)	10:00-17:00	海岸清掃及び海上回収実習*	〃
11 月 12 日 (水)	09:30-16:30	捜索救助通信訓練	横浜海上防災基地
11 月 21 日 (金)	11:30-12:00	閉講式	JICA 横浜 (横浜市)

※の印は、場所、環境等の都合から、人数等の取材制限があります。